



第82号

## 平成29年度 生涯学習リレー講座を終えて

### 講座1 「安心安全な家庭菜園の作り方」

講師/ナイスエコファーム 顧問 松本 滋 氏



定植すること。定植前に4時間、苗をポットごとたっぷり水につけ、定植の日は土に灌水しないこと。作物の状態に目と気を配ること。水やりは、夕方に行い、毎朝葉がピンと広がっていることが大事なこと等々、美味しく体にいい野菜を家庭で作る、自然農法の基本とコツをわかりやすく学びました。

始めたばかりの我が家の小さな菜園にも早速取り入れたい事ばかりで、大感謝です。

(総務委員長 齊藤 徹)



まず、先生は「私は女性農業者です」と自己紹介されました。それから今に至るまでのお話を進められました。現在、男性が中心となっている農業者という気持ちはなくなればと思いつつ、石狩中部女性農業者ネットワークは「もい」を立ち上げたそうです。それを機に色々な研修会に参加されましたが、納得がいかず、自分の役割と使命を見出されませんでした。その使命とは「伝える事」。そして人との繋がりを大切にすること。伝えるのは、女性が良いと思う。とお話されていました。

これまでは人生で挫折もありましたが、家族との連携と支えがあつて活動できたそうです。日見ましい活躍の裏で、農業者の減少と高齢化による後継者問題について苦悩されている事を、切実に語ってくださいました。

最後に、分かりやすいさまざまなレシピの説明がありました。江別の特産物は100種類近くあるとの話で、先生は「美味しくいただける食材に感謝をしながら無駄なくたくさん使って、お料理を召し上がってください。」と呼びかけられていて、熱い想いを感じました。

本当に参加して良かったです。ありがとうございました。

(総務副委員長 内田 ルリ子)

### 講座2 「地元食材を活用した手作りクッキング」

講師/石狩中部女性農業者ネットワークは「もい」 会長 三角 晴美 氏

### 講座3 「楽しい食への誘い」

講師/江別市食生活改善協議会 会長 伊藤 洋子 氏

講師が長年実践してこられた自然農法を学ぶ講座でした。自然農法は、安心、安全、美味しい野菜作りは土が基本であるという考え方の手法です。

土や植物の力を引き出しながら、健康的で美味しい作物を作る自然農法は、微生物が豊富な土であること、落葉や草で作った自然堆肥を用いて、春先ではなく雪が降る前に土作りをすることが基本であること。米ヌカと自然堆肥や米ヌカと馬糞堆肥を土に混ぜて行うこと、良い堆肥を使うと化学肥料を使わずに美味しい作物ができること。市販の肥料で育った野菜は甘いが舌がヒリヒリと感じ、反対に自然農法ではまろやかな味になることなどが特徴で、目から鱗の教えでした。



## 食から得られる生きる知恵

平成29年度 生涯学習リレー講座「食から得られる生きる知恵」

受講料無料

講座1 9月8日(金) 18:30~20:00 (定員100名/受講料無料)  
「安心安全な家庭菜園の作り方」  
講師: ナイスエコファーム顧問 松本 滋 氏

講座2 9月15日(金) 18:30~20:00 (定員100名/受講料無料)  
「地元食材を活用した手作りクッキング」  
講師: 石狩中部女性農業者ネットワークは「もい」会長 三角 晴美 氏

講座3 9月22日(金) 18:30~20:00 (定員100名/受講料無料)  
「楽しい食への誘い」  
講師: 江別市食生活改善協議会会長 伊藤 洋子 氏

申込み方法/電話、メール、FAX、申込書郵送により受付いたします。FAX、郵送の場合は裏面の「参加申込書」をご利用ください。メールアドレスの場合は、名前、住所、電話番号、受講希望講座をお知らせください。

お問い合わせ先/江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習係)  
〒067-0074 江別市高砂町24-6  
TEL 011-381-1062 / FAX 011-382-3434  
E-mail shougaiakushu@city.ebetsu.lg.jp

江別市生涯学習推進協議会 ホームページ: http://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会/

主 催 江別市生涯学習推進協議会



最後の大きな食育カルタは、聞いている人の注意をぐっと引き寄せました。参加した人達全員、満足して帰ったと思います。いい講演でした。

(総務委員 深瀬 慎一)



### 視察調査に参加して

総務委員会 齊藤 徹

当協議会は生涯学習において先進的な取り組みをしている地域の視察調査を実施しています。ここ6、7年の間では、釧路市、恵庭市、石見沢市、栗山町などを視察調査してきました。昨年視察した石狩市では、旧中学校跡地を再利用した「石狩市民館」での「いしかり市民力レジ」の取り組み、「花川北コミュニティセンター」と「市民活動情報センター」をばらーとの生涯学習活動を視察しました（詳細は、ららら78号に掲載）。

年ごとの視察調査については、総務委員会の提案をもとに事業・広報委員会がテーマを協議して総務委員会でまとめています。今年、「元氣フェスティバル」を実施している北広島市としました。10月31日に、各委員会と事務局9名で「北広島市芸術文化ホール」をメインに、「北広島市広葉交流センター」とその中の「北広島市エコミュージアムセンター」知新の駅、そして新築されたばかりの北広島市庁舎を訪問し、お話を伺いました。

### これからのイベント

#### ◆江別生涯学習インストラクターの会

○親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい  
日時/2018年1月27日(土) 10:30~11:30  
場所/野幌公民館 和室  
講師:元江別わかば幼稚園 園長 土谷 直穂美 先生  
参加費:無料  
定員:親子(1~3歳くらいまで)先着20組  
申込先:011-383-5751(留守電対応)  
※折り返しお電話します。

冬の1日、親子でリズム運動や、手遊び、身体を使って遊ぼう!身近なもので、作って遊ぼう!さむい冬は、お家でたくさん遊んでたくさん笑ってたくさん楽しい時間を作るチャンスがいっぱいです。土谷先生の豊富な経験からいろいろな遊びを通しての子育てのヒントを、親子で実践しながら笑顔で学ぶ日にしましょう。たくさんのお参加をお待ちしています。「身近なものでおもちゃを手作り」のヒントもありますよ!!

#### ○親子で作るバレンタインスイーツ

日時/2018年2月10日(土)  
場所/野幌公民館 調理室  
講師:尾澤 典子 氏  
参加費:1000円程度  
定員:15組30人  
申込先:011-383-5751(留守電対応)  
※折り返しお電話します。

#### ◆江北まちづくり会

○江北ふれあいまつり  
日時/2018年2月18日(日) 10:00~  
場所/都市と農村の交流センター「えみくる」  
第11回目を迎えるイベント  
市街地に住む人達と、江北地区の人たちの交流を行う場



### 今回の手話



「養成」「育成」する  
左手の指文字「コ」形の下に右手指先を出し入れしながら上げていく

### 「養成」「育成」する

《編集後記》  
ららら第82号いかがでしたでしょうか。  
今年度から初めて発行に関わりますが、発行時期による掲載内容にこれからも悩むの  
かな?と思いつつも頑張ります。  
上野 聡志

広報委員会 西懸 昭子

10月31日、前日の強風も静まり、北風吹く中9名で北広島市芸術文化ホールへ向かいました。私は初めての訪問でしたがメンバーの中に何度か伺っているという方もいましたように市外の方でも利用しやすい駅に隣接という立地でした。雨に濡れることなく利用できるこの建物は、平成10年に新設されました。駅の利用性を重点に計画され、図書館を含め大小会議室や花ホールを設け、年間10万人の方が利用している(稼働率8割)。中でも体操やコーラスのような団体が音を気にする事なく利用できる防音室は95%稼働で、ほぼ生息のない状態との事です。ホールは600席あり、ゆったり座れる席で居心地よく楽しめそうな雰囲気でした。



次に、「元氣フェスティバル」について説明を受けました。同イベントは参加団体の分野も広く皆が楽しめるよう企画され、毎年賑わっているそうです。イベントの終わりに当日の動画を流し、参加者の様子を映像にしてさらに楽しんでもらえる工夫もされていました。

最後に今年5月にオープンしたばかりの北広島市役所を見学しました。保健センターを併設した、ガラス張りのクリンな設計で地上5階建ての誰もが居心地よく集える場になっており、また、防災拠点としての役割も配慮した省エネ対応庁舎でした。



なお、北広島市には生涯学習振興会が市内4地区にあり、その会が発行する広報誌では様々な活動の様子が発信されるそうです。北広島市の生涯学習現場を見学させていただきありがとうございました。



事業委員会 中村 律子

10月31日、晴天に恵まれ7名の理事と事務局2名の計9名で北広島市の生涯学習施設を視察しました。

江別市の教育庁舎よりバスに乗車して北広島市芸術文化ホールに向かい、研修室において北広島市教育委員会の担当者から事前説明がありました。当日はリハール中でしたが、説明の後ホールの中を見学させていただきました。施設は運営はボランティア団体へゆだねられているそうです。登録しているボランティアの方には研修も行われ、ほぼ固定のメンバーで事前準備から当日の会場運営も行われているとのことでした。

その後研修室へ戻り「元氣フェスティバル」きたひろしの説明を受けました。今年で13回目になるイベントですが、江別市との違いは、健康・福祉・消費生活・生涯学習など各領域で開催されていたイベントを二つに集約してより大きなイベントにし、より多くの市民が参加しているところ。今年9月3日(日)に開催され、参加団体数は41団体、来場者数は約3000人とのことでした。

とでした。今後の課題としては、年々参加団体数が減少しているため、どのように増やしていくかを来年に向け実行委員会を取り組み始めたことでした。規模の違いを実感しながら、江別市で何ができるか考えながらホールを後に昼食会場であるくくるの杜へ向かいました。地元産の食材を使った料理を堪能してから、次の会場へ。  
北広島市広葉交流センター知新の駅は、旧広葉小学校跡地が生まれ変わり平成26年7月にオープンしました。「エコミュージアムセンター」知新の駅では北広島に関する情報の収集と発信提供展示を行っています。小学校校舎をリノベーションしたとは思えない素晴らしい内容でした。「住みよさランキング」4年連続で北海道第一位のまちというのもうなずけました。  
交流センターから北広島市役所の新庁舎へ向かい、5階建ての庁舎内を見学。まるでホテルのロビーのようなたたずまいに、いつしか江別市にも新庁舎を思いつづ北広島を後にしました。来年の「生涯学習フェスティバル」へ向け、実り多い視察でした。